

令和6年 堅果類（ドングリ）の豊凶調査結果について

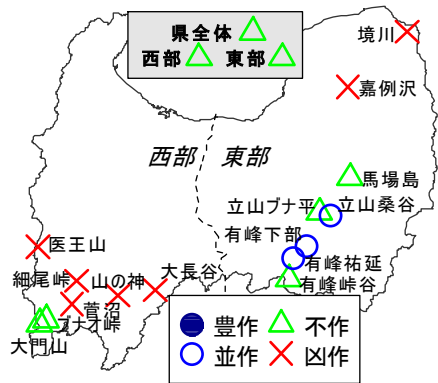
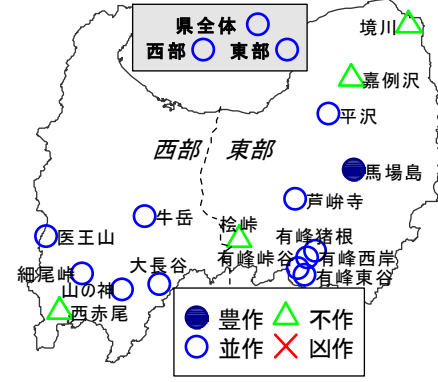
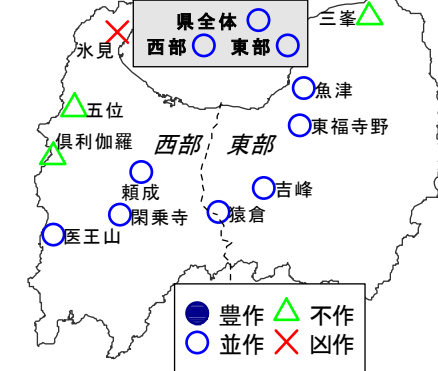
1 堅果類（ドングリ）の着果状況について

秋のクマの主食と考えられるブナ、ミズナラ、コナラの実の豊凶調査の結果、ブナ不作、ミズナラ並作、コナラ並作となりました。

2 ツキノワグマ出没予測

今年と類似パターンで作柄だった平成19、21年の秋はクマの出没は少なかったですが、ブナやコナラが凶作の地域ではクマの活動域が広がる可能性があること、また、既に里山地域などに定着しているクマも考えられることから、山裾の集落周辺を中心にクマの出没に警戒する必要があります。

3 森林研究所の樹種別着果状況調査結果（調査時期：ブナ7月下旬～8月、ナラ類8月中下旬）

樹種	ブナ	
作柄	全県：不作 〔 東部：不作 西部：不作 〕	
調査箇所	15箇所 境川、嘉例沢、馬場島、立山桑谷、立山ブナ平、有峰（下部、祐延、峠谷）、大長谷、山の神、細尾峠、菅沼、ブナオ峠、大門山、医王山	
樹種	ミズナラ	
作柄	全県：並作 〔 東部：並作 西部：並作 〕	
調査箇所	16箇所 境川、嘉例沢、平沢、馬場島、芦峯寺、有峰（猪根、西岸、峠谷、東谷）、桧峠、牛岳、大長谷、山の神、細尾峠、西赤尾、医王山	
樹種	コナラ	
作柄	全県：並作 〔 東部：並作 西部：並作 〕	
調査箇所	11箇所 三峯、魚津、東福寺野、吉峰、猿倉、頼成、閑乗寺、医王山、俱利伽羅、五位、氷見	

※作柄は豊作、並作、不作、凶作の4段階区分（健全堅果密度と着果指数に基づく）

（神通川を境に東側を県東部、西側を県西部）